

持続可能な維持管理に向けた論点	対応(案)	ご意見をいただきたい点
合理的な点検期間の設定	引き続き、他分野の取り組み、新技術の動向、係留施設以外のデータ整理を行いつつ、次年度以降本検討会にて検討	点検周期を延長するためには、どのようなエビデンスや新技術が必要か。
基準類の充実	資料4をもとに、すぐにできる改善策と、抜本的な整理が必要な対応を峻別しつつ、引き続き次年度以降本検討会にて検討	すぐにできる改善策としては、ガイドラインの修正や記載明確化で完結し、告示に波及しない項目と考えられるが、他にどのような点が考えられるか。
日常点検に使用する簡易なシステムの普及	サイバーポート(港湾インフラ分野)で構築中のシステム(資料3で紹介)や、民間の類似システムの活用	(所見の充実との両立について) 左記取り組みにより点検の負担軽減を進めるとともに、点検結果のビッグデータの価値を高めるため、劣化度の判断根拠についても簡便な入力方法とともに「所見」の入力を促進することが考えられる。 他方、負担軽減の観点から必要最小限とすべきであり、どの程度の情報があればよいか
革新的な新技術導入時の円滑な導入に向けた支援方策の検討	引き続き国において検討	(主に制度面の対応と考えられるが、技術的側面からご意見があれば)
体制のあり方	WGでのご意見を踏まえ、引き続き国において検討	(主に制度面の対応と考えられるが、技術的側面からご意見があれば)